

特集論文の公募のお知らせ

2026 年度日本選挙学会年報編集委員長

清水唯一朗

2025 年度日本選挙学会査読委員長

尾野嘉邦

○特集「混迷する日本政治のゆくえ」

2026 年度年報編集委員会は、『選挙研究』42 巻 2 号（2026 年 12 月末刊行予定）の特集として「混迷する日本政治のゆくえ」をテーマとすることを決定いたしました。この特集は、編集委員会からの依頼論文と、会員のみなさまの投稿論文から構成されます。

日本政治は混迷のなか、大きな分岐点に差し掛かっているように思われます。ひとたび回復したかに見えた自民党の優位はふたたび揺らぎ、30 年ぶりとなる少数与党が現出し、四半世紀にわたって続いた自公連立は解消、自民・維新の協力内閣、さらには定数削減から選挙制度改革まで、現実政治は急速な変化を見せています。

本号特集「混迷する日本政治の行方」では、このような情勢を受け、日本政治の現状と見通しを検討する研究論文を広く募集します。前号で提示した選挙学会の強みを踏まえ、方法論は問いません。制度、行動、歴史、比較、社会心理、メディア、地方政治など、あらゆるアプローチからの投稿を歓迎します。

会員のみなさまからの積極的な投稿をお待ちしております。

投稿締切日 2026 年 2 月 28 日（土）

投稿要領、執筆要領については以下のページをご参照ください。

<https://www.jaesnet.org/research/publications/index.html>

○参考：査読スケジュールについて

現在、日本選挙学会は『選挙研究』論文投稿システムを通じて、投稿を受け付けています。受付終了後、査読委員会で審議を行い、匿名査読者の選定ならびに査読依頼をしております。したがって、当該論文の完成度にもよりますが、投稿から最初の査読結果が戻るまでに要する時間はおおよそ 3 ヶ月です。修正・再査読となった場合、査読結果に応じて再投稿がなされてから、最終結果が出るまでに 2 ヶ月ほど要します。修正・再投稿にかかる時間によりますが、最初の投稿から最終結果の確定まで、6 ヶ月ほどの時間を見込んでください。

したがって、今回の特集に応募して締切日までに投稿すれば、2026 年 8 月までに査読のプロセスを終えて 42 巻 1 号に最終稿を入稿できることとなります。ただしこれは査読および再投稿が円滑に進んだ場合の想定ですので、必ずしも 42 巻 2 号への掲載が保証されるわけではないことをご理解ください。

なお、査読を経て掲載が決定した論文につきましては、年報編集委員長名で掲載決定の証明書を発行することが可能です。